PIIA Knots

公益社団法人Knots(結び目)は、「人と（ヒト以外の）動物の幸せな共生」をテーマに主に社会教育事業を行っています。
Knotsが日頃お世話になっております素敵な皆さまから、メッセージを頂くシリーズです。

公益社団法人Knotsノッツ・結び目
WEBサイトhttp://knots.or.jp
お話：中島克元さん
公益社団法人
神戸市獣医師会　会長

人びとを幸せにする無欲の癒し行為

幸せという感情は人それぞれで、はたから見れば不幸そうに見える動物と人との関係であっても、当人たちにしてみれば幸せな関係なのかもしれません。継続して観察することでやっと理解できる関係性もあるでしょう。

一般的に人と人以外の動物との幸せな共生の関係を築くために、私たち獣医師に何ができるのかと考えますと、我々専門家しか知りえない、かつ、理解できない疾病の状況を分かりやすく飼い主に説明し、改善方法を示すことではないかと考えます。

平成の時代から令和の時代へと世の中は変遷していきますが、「人と（人以外の）動物との幸せな共生」は、その根本的な関係性においてはそうそう簡単に変化するものでもないように思います。

人と人との間の良好な関係は、よくギブアンドテイクで表現され、一方的な犠牲や愛情の享受はあり得ないのでは…と思われますが、人以外の動物との関係では、一方的なものがほとんどです。

そのうえこの関係性を築くために言葉はいりません。人は話しかけていますが動物がどの程度理解できているのか不明です。

中には相当理解できているような現象を示す動物もいるようですが、一般的ではありません。

しかしながら、ある人によっては、もの言わぬからこそ動物の値打ちがあるのだと力説する方も見られます。話すことができなければ争いも起きないということでしょうか。

ものは言わぬが一日中そばにいてくれる動物の存在は貴重なものです。

超高齢化社会の中にあって、動物が示す無欲な癒しの行為が人々に幸せを感じさせてくれるものと思います。

私たち獣医師は飼い主さんが自身の年齢の限界を考慮することなく安心して動物が飼育できるよう環境を整備していきたいと考えています。

そばにいる存在が貴重